

## After Graduation ● 卒業生の進路

物理学科は研究者を目指して進学してくる学生が多い。大部分の学生が学部修了後、大学院に進学しているのが大きな特徴である。卒業生の進路は大きく分けて2つあり、1つは博士号を取得して研究者の道を選ぶこと、もう1つは学部・大学院のどこか(博士取得後を含む)で企業や公務員などに就職することである。

研究者を目指す学生達は、博士課程卒業後、大学や研究機関における研究職、海外や国内の研究機関におけるポストドク研究員などが主な進路となる。東京大学は日本の物理学研究で重要な役割を果たす数多くの人材を輩出している。

### 学部・修士課程卒業生の進路

	学部	修士
卒業者数	76	95
就職	1	24
進学	75	70
その他	0	1

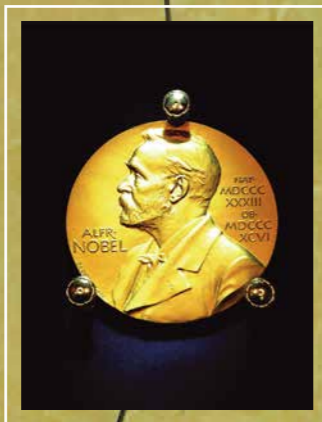
2026年3月

# 東京大学理学部 物理学科 進学案内

Physics 2026



KAMIOKANDE検出器で  
用いられた光センサーの実物



小柴名譽教授の受賞した  
2002年ノーベル物理学賞



理学部一号館の正面



## 物理学科へのいざない

物理学専攻長 物理学科長  
上田 正仁

物理学は森羅万象の自然現象を少数の原理から統一的に理解しようと試みる学問分野です。黙して語らぬ自然と実験を通じて対話を重ね、再現性のある現象を原理に立ち返って定量的に理解する学問ということもできます。数学は人間の自由な発想のもとに理論を構築できるのに対し、物理学は論理的に可能な無限の可能性の中から自然が選択する唯一の法則を洞察することが求められます。自然が選択した法則は、時に最も単純で美しく、時には「事実は小説より奇なり」を地で行くかのごとです。マイクロコスモス、マクロコスモスという言葉がありますが、物理学はミクロな素粒子・原子核からマクロな宇宙までの広大なスケールを統一的に記述します。アインシュタインはそこに人知を超越した“spirit”を感じたといわれます。

物理学は2つの異なる思想の下に発展しました。その一つは還元主義で、物質の構成要素を原子、原子核、クオークへと分解し、よりミクロな世界の法則を追究してきました。もう一つは創発主義とも呼ぶべきもので、多数の粒子が集まった結果発現するマクロな現象を探索してきました。宇宙の始まりを理解するためにはミクロな法則を発見する必要がありますが、現在の宇宙の豊かな構造の発現機構を理解するためには多数の粒子が相互作用することから生まれる多体効果を解明する必要があります。同じことは物質世界にも当てはまります。超伝導や超流動に代表されるように同じ物質であっても温度が下がるにつれて個々の粒子の性質からは想像できない様々な量子相が発現します。物理学教室の先輩である南部陽一郎博士はこの発現機構―自発的対称性の破れ―が素粒子レベルでも本質的な役割を果たすことを指摘されました。

ニュートリノ研究でノーベル賞をとられた小柴昌俊博士は「ニュートリノ研究は役に立たないし、儲かりもしないよ」とおっしゃいました。ところが、純粋な知的好奇心から発見された新原理は現代文明を支える革新的デバイス原理へと発展しました。一般相対論はGPSの基礎学理となり、量子論からトランジスタやレーザーが生まれ、さらに、統計物理学の考え方に基づくニューラルネットワークの集団的理解は現代のAI技術へと発展しました。

理学部物理学科には約40名の教授・准教授・講師が在籍しています。大学院の物理学専攻は物理学科教員のほか、物性研究所、宇宙線研究所、カブリ数物連携宇宙研究機構など15の学内組織、さらには外部機関である高エネルギー加速器研究機構(KEK)、理化学研究所、宇宙科学研究所の教員も含めて、講師以上の教員数が130名を超える世界でも有数の教育・研究拠点であり、広大な物理学のほとんどの領域をカバーしています。

理学部物理学科では2~3年生で学問体系の基礎となる量子力学、熱力学・統計力学、電磁気学、固体物理学と関連する実験技術などを学びます。4年生の特別実験・理論演習や大学院共通講義では最先端の研究に触れて実践することができます。また、機械学習の基礎とそれが物理学へどう応用されているかも学びます。卒業生の多くは大学院に進学し研究者を目指しますが、物理学科で培った原理に立ち戻って問題を理解し解決するという能力を活かして社会で活躍している人も数多くいます。

物理学の研究は未知の自然現象の探求であり、実験から得られるデータはデータセンターには存在せず、AIから学ぶことができません。そのような自然の成り立ちや仕組みを自らの頭で理解したいという好奇心と探求心にあふれた方、柔軟な発想で自然科学の新しい地平を切り拓きたい方、社会の課題解決に物理学を役立てたい方を、私たちは心から歓迎します。



## 写真で見る物理学科



理学部4号館1220号室での講義風景です。



3年生の物理学演習の授業では、順番に演習問題を解きます。



3年生の実験の授業では、物性、光、エレクトロニクス、生物実験などをおこない、物理実験の基礎を学びます。4年生になると、研究室に配属されより専門的な実験、演習をします。



5月祭では3、4年生有志により、物理学の最近のテーマを題材にした研究発表が行われます。



毎年5月頃のガイダンスでは大学院の志望を考えている人へのセミナーなどが開かれます。



談話室では学生同士で気軽に話せます。



## Research field introduction ● 研究紹介

物理学科の先生たちの研究室では、世界的なレベルでの研究が行われています。みなさんが実際に研究活動を始めるとは大学院からになりますが、このページではその簡単な紹介をします。詳細については、物理学科のホームページ <https://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/field/> をご覧ください。

## General Physics ● 一般物理



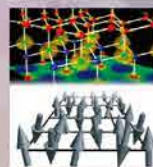
一般物理の主な研究領域としては「量子情報」「レーザー科学」「非平衡系」「プラズマ物理学」「生物物理」がある。これらは物理学における新たな周辺領域を形成する先端領域である。

## Astrophysics ● 宇宙物理



美しい夜空の背後では、様々なスケールの天文・天体現象が絶え間なく続いている。それらを普遍的な物理法則によって理解すること、そして、そこから基礎物理理論についての知見を深めることが、宇宙物理学の目指すところである。

## Condensed Matter Physics ● 物性物理



物性物理学では、巨大な数の原子/分子からなる系の示す電気伝導・磁気・超伝導などの性質がどのように現れるかを理解し、さらに新しい性質を導出する原理を探究することを目的にしている。様々な対称性の変化を伴う相転移をはじめとし、自然を理解する上で極めて重要である。

## Elementary Particle Physics ● 素粒子物理



「物質とは何か、力とは何か、時間や空間とは何か、」これらは太古より人類の想像力を喚起してきた問いである。素粒子物理学は、あらゆる物質の共通かつ最小の構成要素である素粒子と、素粒子の間に働く力の本質を研究する学問である。

## Nuclear Physics ● 原子核物理



原子核物理学の大きな目的の一つは、強い相互作用の性質を明らかにしながら、それによって一固まりになっている原子核の構造を解明することにある。

## Curriculum ● カリキュラム

物理学科では先端的な研究を基礎から一步一步学んでいける教育プログラムを作っています。その大きな柱としては「講義」と「実験」があります。また各必修科目の講義に対して「演習」が行われ、講義の内容を理解をより確実なものにします。各学年のカリキュラムの特徴は次のようなものです。

2年生  
Aセメスター

量子力学、電磁気学、物理数学などの基礎固めが中心となる期間です。

3年生

量子力学、統計力学、電磁気学などの基礎科目のより発展的な内容の学習・トレーニングと、物理実験の基本を学ぶのが中心となります。

4年生

最先端の研究の学修が始まるのと同時に、研究室に所属し研究の現場を体験します。

## Required subjects and optional subjects of each school year ● 各学年の必須科目・選択科目

2年生 Aセメスター

	必修科目	選択科目
講義	物理数学 I・II、物理実験学、電磁気学 I、解析力学、量子力学 I	情報数学、形式言語理論、天文学概論、地球惑星物理学概論、化学熱力学 I、量子化学 I、無機化学 I、物理学のための科学英語基礎
演習	物理学演習 I・II	

3年生

	必修科目	選択科目
講義	電磁気学 II・III、量子力学 II・III、統計力学 I・II	現代実験物理学 I、II、流体力学、光学、物理数学 III、生物物理学、固体物理学 I、計算機実験 II、物質科学基礎、量子コンピューター実習、
演習	物理学演習 III~V、物理学ゼミナール	応用数学 XC、解析学 XC、代数学 XC、幾何学 XC
実験	物理学実験 I・II、 計算機実験 I	

4年生

	必修科目	選択科目
講義	研究倫理	生物物理学特論 I・II、普遍性生物学、場の量子論 I・II、電子回路論、量子光学、
演習	理論演習 I、理論演習 II	固体物理学 II・III、一般相対論、化学物理学、宇宙物理学、プラズマ物理学、
実験	特別実験 I、特別実験 II	現代物理学入門、サブアトム物理学、素粒子物理学、原子核物理学、
		統計力学特論、物理学のための科学英語特論、物性物理学特論、
		非平衡科学、機械学習概論、現代物理と機械学習、量子コンピューター実習、
		連続系アルゴリズム、自然計算、量子計算科学、応用数学 XC、
		解析学 XC、系外惑星、重力波物理学、代数学 XC、幾何学 XC

枠内より選択

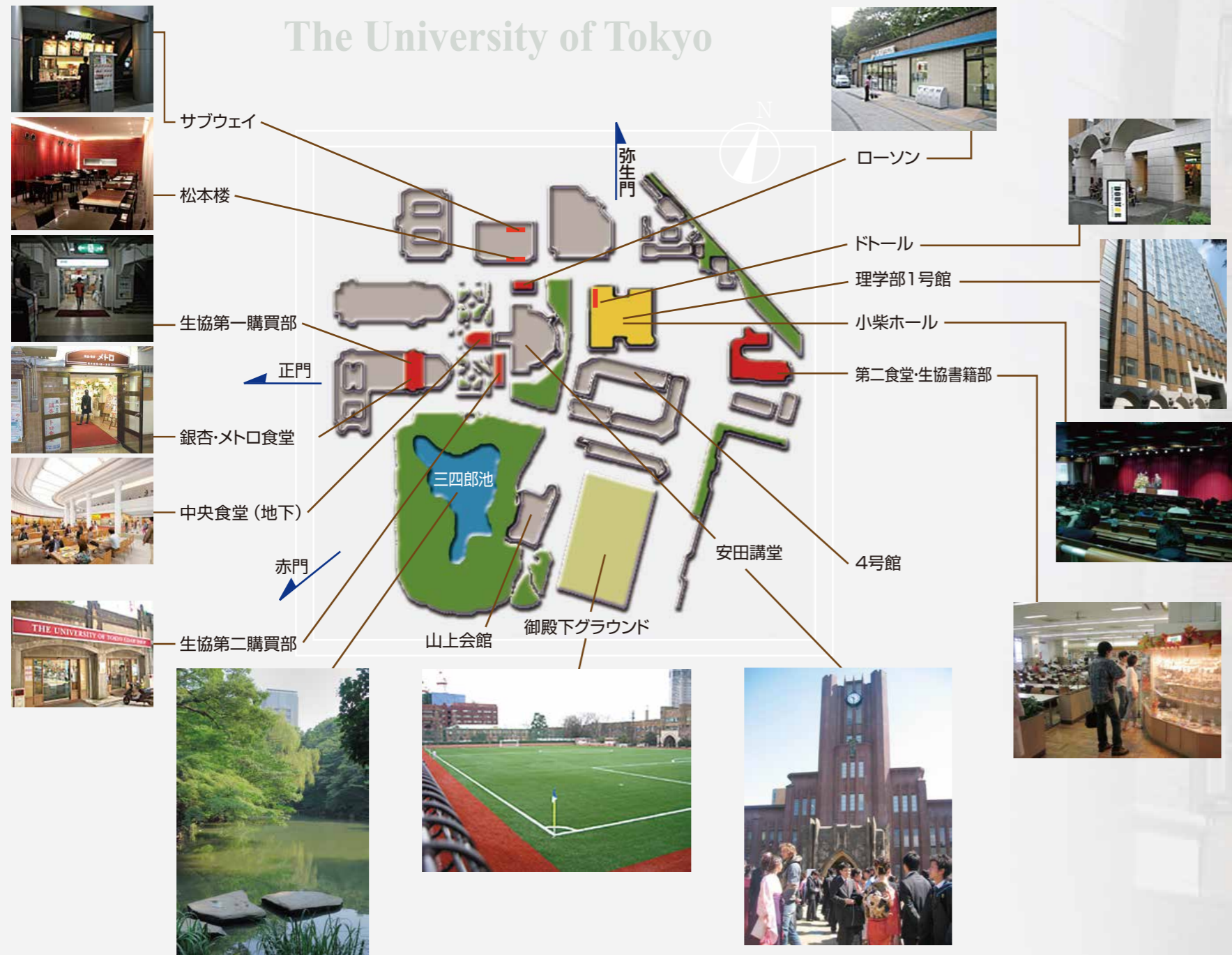
他学科講義

(2026年度理学部便覧より)



### Campus Map ● アクセスとロケーション

物理学がある理学部一号館は、安田講堂のすぐ後ろの、本郷キャンパスの絶好の場所にあります。食堂、購買部、書籍部、御殿下グラウンドなどといった学生生活に基本的な施設が徒歩3分以内にあります。



### Daily Life ● 学部学生の日



**10時 登校**  
朝10時過ぎに物理学の学生達が登校。

am 10 : 00



**10時25分~2限受講**  
3年生の授業は、量子力学、統計力学、電磁気学、物理数学といった基礎的なものが多く、4年生になると、固体物理学、原子核物理学、宇宙物理学といった高度で専門的な授業が多くなります。

am 11 : 00

pm 12 : 00



**12時過ぎ 昼食**  
学科の仲間とともに昼食を。物理学の建物の周りにはゆったりとランチができる飲食店が豊富。また、午後の授業は1時からなので、キャンパスの外に食事に行ったり、昼食後に書籍部や購買部に行く時間も十分です。

pm 1 : 00



**1時 学生実験**  
学生実験風景。週5日のうち3日は、午後は実験の時間です。ただし、毎週3日間必ず実験があるわけではなく、1週間(3日間)実験をおこなったら、次の1週間(3日間)はレポートを書くために午後はお休みになります。

pm 5 : 00

### After school ● 放課後の過ごし方



放課後の過ごし方は人それぞれ…。構内にあるドールやスターバックスで友人とおしゃべりを楽しんだり、御殿下記念館で体を動かしたり、バイトにいそんだり…。仲間同士で自主的にゼミを開き、数学や物理を勉強する機会もあります。